



# 安全・安心なまちを目指し 地域での児童見守りパトロール実施中

湘南地区では、柳島自治会、エクシード茅ヶ崎自治会（さわやかクラブ）、中島自治会で児童見守りパトロールを行っています。その中で、今回、中島自治会での取り組みについてご紹介します。



中島は農地と住宅が混在する地域に鉄道と国道1号線、産業道路が貫き、そこに2ヶ所の踏切があります。そのため交通安全と防犯の見守り活動は、児童を守る不可欠な活動です。昨年10月、中島踏切で発生した人身事故による踏切閉鎖が登校時間を直撃。そこで踏切をいつも付き添って渡る保護者の方々が、別ルートに迂回させ安全に登校できました。朝の児童の安全は、保護者と地域住民のボランティアが見守り役として協同で支え、下校時には産業道路の押しボタン式信号をエクシード自治会の方達、そこから地区内は中島の住民が引き受ける見守りのリレーです。さらに、日中の防犯は抑止力を期待した動く看板です。3ヶ所でのぼり旗がは

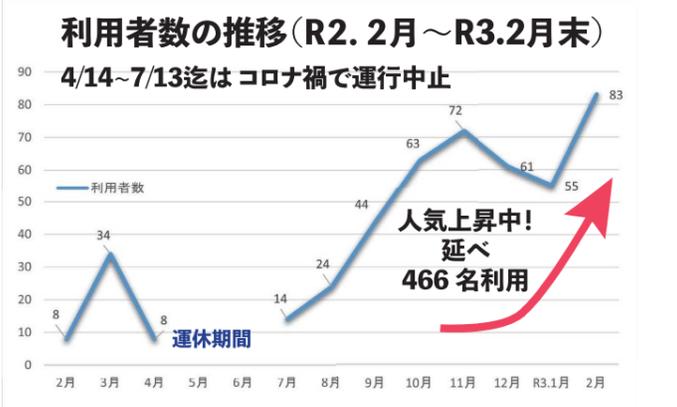
ためき、車、バイクそして自転車に添付した「地域安全パトロール中」のプレートは、人が動くと同時に地区内を巡ります。参加しやすい見守り活動は、散歩しながらのワンワンパトロールがあります。

地域の安全と安心のため防犯カメラの設置が望まれる現代ですが、中島自治会では機器の継続した管理、等ができないと判断、設置はダミーカメラのみです。今は、人と人の繋がりで住みやすい地域作りを心がけています。

中島中学北の信号機 子ども達が合流する信号機。8時前後は両側の歩道もいっぱいになる



## 『おでかけワゴン』 女性ドライバー登場 湘南地区を走る



湘南地区での買い物、病院通いなどに便利と評判の「おでかけワゴン」に、ボランティアとしてドライバーに応募（2回目）した11人（男性8名、女性3名）が、コミセン湘南での研修に参加しました。移動サービスに関する法律制度、運転に必要な知識・心構えなどの講義、福祉車両の運転、接客・介助の演習を受け、有償福祉運送資格を取得しました。



今回参加した中の1人、女性ドライバーが3月9日より試乗を行い、実際に運転手として運行する事になりました。住民の皆さん、地域の力で毎週火曜日に運行している「おでかけワゴン」を利用してみませんか？

## 令和2年 湘南地区 振込め詐欺被害ゼロ! 今後も気を緩めず注意し、ゼロを継続しよう!

項目	区分	認知件数 (1月～12月)		前年同期比	
		令和元年	令和2年	差異	%
振込め詐欺	茅ヶ崎市管内	35	31	-4	89%
	湘南地区	4	0	-4	0%
自転車盗難	茅ヶ崎市管内	395	245	-150	62%
	湘南地区	19	7	-12	37%

湘南地区まちぢから協議会では、犯罪発生を無くす為、ホームページや広報紙等で引き続き啓発活動を行います。

## 編集後記

春はもうすぐそこまで来ていますが、新型コロナウイルス感染が終息するまでは、まだ時間がかかりそうです。さて、私たち広報部会では、年間3回の広報紙を発行しております。広報の役割は地域住民に湘南地区の各自治会、各種団体等のさまざまな活動を知っていただくことです。安心・安全のまちづくりを目指し、人と人のつながりを広げながら魅力のある紙面づくりをこれからも目指します。

湘南地区に関する情報や紙面への感想がありましたら、お気軽に、コミセン湘南の『まちぢから協議会事務所』までご連絡下さい。(TEL 0467-57-5655)



# 第10号 湘南地区まちぢから協議会 まちぢだより shonan

発行日 令和3年3月20日  
編集 湘南地区まちぢから協議会広報部会  
問合せ コミュニティセンター湘南  
TEL 0467-57-5655  
湘南地区世帯数 6,854世帯  
(令和2年11月1日現在)



<http://shonan-machi.sakura.ne.jp/>

## 「第1回自治会長部会」を開催! 湘南地区自治会活動の活性化に向けた各自治会の課題・その対応策を検討

私たちの住む湘南地区は、中島、柳島、松尾、浜見平団地、松風、エクシード茅ヶ崎、ベルパーク湘南茅ヶ崎、グランヴァーク茅ヶ崎の8自治会区域が活動範囲となっています。

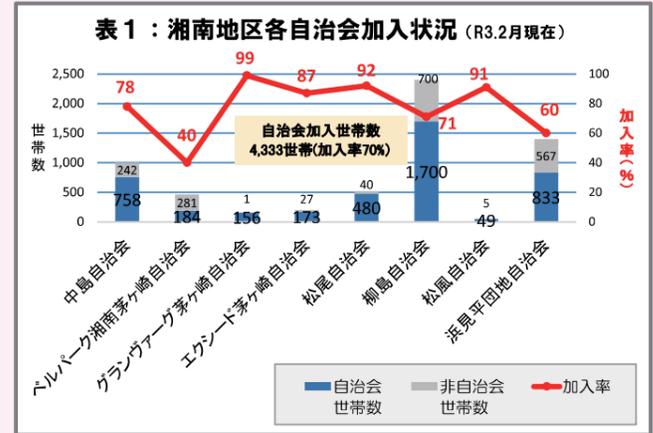
自治会が他のスポーツや趣味の会などの団体と異なるのは、災害時をはじめ日常生活の中での様々な問題（環境、福祉、交通安全、地域安全、防災など）を、住民相互が協力、連携し、自分たちのまちを良くしていこうとする意思を持っている点です。また、自治会は、災害時をはじめ日常生活の中での様々な問題を地域住民が共同で解決し、少しでも良い地域社会を築くためのものです。

昨今、自治会活動での抱えている課題は、自治会加入の減少、ゴミ集積所の管理、コロナ禍での回覧方法、役員選出、会議の開催等多々あります。

そこで、今回これらの課題の共有を図り、各自治会の現状を確認した上で、その対応策について、2月21日(日)コミセン湘南に於いて、各自治会長に集まって戴き第1回自治会長部会を開催しました。



自治会長部会 会議の様子



第1回目のテーマは、下記の通りです。

- 自治会加入の減少に関する各自治会の状況確認(表1)
  - 各自治会の加入率は、バラツキはありますが、湘南地区全体では70%（加入世帯数4,333世帯）となっています。
  - 自治会の未加入者が、加入しない理由としてあげる主な理由は、「自治会加入のメリットがない」、「会員になると役員をやらされる」、「地域のことがわからない」等が挙げられました。
- ゴミ集積所の管理について
  - 不法投棄、分別がなされていない、指定日が守られていない等が挙げられました。
  - 管理強化のため防犯カメラを設置した自治会もありました。

今後、自治会長部会を定期的に開催し、これらの課題に対する対応策について検討していきます。

## 湘南地区まちぢから協議会 自治会長部会 会長 高山 和茂



新型コロナウイルス感染拡大は、1月に緊急事態宣言再発令がなされ、ほぼ2か月が経とうとしていて、徐々に感染減少しています。ワクチンの接種が始まりましたが、皆様に行き届くには時間がかかると予測され、外出自粛など不自由な生活で日々ストレスを感じつつ、お過ごしのこととお察し申し上げます。

湘南地区まちぢから連絡会のこの地区は、ハマミーナの規模拡大、スポーツ公園での市のスポーツ行事、数年後に出来る予定の道の駅等、地域環境は変化し続けております。また、相模川が横にあり、水害などの防災にも気を配らなければならない地域でもあります。

各自治会がお互いに協力しあいながら、地域で生活されている皆様の、安心安全を作り上げていきたいと考えております。

